

Bulletin of Japan Women's College of Physical Education
Vol. 54

日本女子体育大学 紀 要

第54卷

令和6年3月

日本女子体育大学

日本女子体育大学紀要規程（平成28年 学承 第21号）

平成29年2月14日制定

改正 令和元年6月12日 令和2年3月5日

令和3年6月9日

令和5年6月14日

（目的）

第1条 日本女子体育大学（以下、「本学」という。）は、本学における学術研究を促進し、かつその成果を公表することを目的として、大学紀要を発行する。

（名称）

第2条 大学紀要の名称は、「日本女子体育大学紀要」（以下、「紀要」という。）という。

（発行）

第3条 紀要は、原則として年1回発行する。

2 紀要の発行者は本学とし、編集は「日本女子体育大学紀要委員会」（以下、「紀要委員会」という。）が行う。

（投稿者の資格）

第4条 筆頭著者は、本学の教員（名誉教授及び非常勤講師を含む）及び職員、大学院学生、大学院研究生、大学院修士、その他専任教員の推薦状を有し紀要委員会が認めた者とする。但し、共著者はこの限りではない。

（投稿原稿の種類）

第5条 原稿は、未発表のものに限る。また、原稿の種類は、総説、論文、報告、資料とする。

（原稿の執筆要綱）

第6条 原稿は、和文または英文とする。また、原稿には和文抄録と英文抄録をつける。

2 原稿は、本文、図表、注及び註、引用文献、参考文献などを含めて全角20,000文字以内とする。図表については、大きさに応じて字数換算する。詳細については、執筆要綱を定めた「日本女子体育大学紀要投稿の手引き」による。

（原稿の査読と採否）

第7条 紀要委員会は、当該原稿に適した複数の査読者を指定して査読を依頼し、査読者の評定に基づき紀要委員会が原稿の採否を決定する。原則として査読者は学内者とするが、必要な場合には学外者にも依頼することがある。

（経費）

第8条 紀要発行に要する経費は、原則として発行者が負担する。

2 別刷を希望する場合は、著者の実費負担とする。

（研究補助の明示）

第9条 「二階堂奨励研究」、「二階堂学園在外派遣」及び本学「共同研究」等の補助を受けて行った研究等を投稿する場合には、文末にそのこと及びその年度を明示するものとする。

（著作権）

第10条 紀要に掲載された原稿の著作権は、本学に帰属する。著者は、その著作権の本学への移転を了承し、所定用紙に明記するものとする。

2 紀要に掲載された原稿は、機関リポジトリで公開するものとする。

（倫理的配慮）

第11条 日本女子体育大学研究倫理委員会（以下、「研究倫理委員会」という。）の審査を必要とする内容の原稿は、必ず研究倫理委員会の承認を得、その承認番号を記載するものとする。

（雑則）

第12条 この規程に定めるもののほか、紀要の発行に必要な事項については、別に定める。

（事務）

第13条 この規程の実施に係る事務は、大学事務局学術情報課が行う。

（改廃）

第14条 この規程の改廃は、教授会の議を経て、学長が行う。

附 則

1 この規程は、平成29年4月1日から施行する。

2 この規程の施行に伴い、「日本女子体育大学紀要」投稿規程は廃止する。

附 則

この規程は、令和元年6月12日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和3年6月9日から施行する。

附 則

この規程は、令和5年6月14日から施行する。

Bulletin of Japan Women's College of Physical Education
Vol. 54

日本女子体育大学 紀 要

第 54 卷

令和 6 年 3 月

日本女子体育大学

目 次

<論文>

1. ジャズダンスに専門に取り組む大学生が認識するジャズダンスの魅力
..... 石川 浩子・佐々木万丈..... 1
2. Pronoun Frames, Metalinguistic Awareness and Cognitive Abilities in Usage-Based Adult Second Language Construction Learning : A Fast-Mapping Experiment
..... NAKAMURA Daisuke..... 13
3. キリアンと言葉
— 『Bella Figura』を手掛かりに— 中村 恩恵..... 29
4. 作品からみるグラハム・テクニクの表現の変遷..... 國本眞由子..... 41
5. ジャン＝ジョルジュ・ノヴェール『舞踊とバレエについての手紙』
— 増補改訂版の考察 — 森 立子..... 55

<報告>

6. 二階堂トクヨが教えたダンス
— リークリエーションについて — 村山 茂代..... 69

CONTENTS

Attractiveness of Jazz dance recognized by college students specializing Jazz dance	ISHIKAWA Hiroko and SASAKI Banjou.....	1
Pronoun Frames, Metalinguistic Awareness and Cognitive Abilities in Usage-Based Adult Second Language Construction Learning : A Fast-Mapping Experiment	NAKAMURA Daisuke.....	13
Kylián and his words : Through the creation of “Bella Figura”	NAKAMURA Megumi.....	29
Changes in the expression of the Graham technique seen through her works	KUNIMOTO Mayuko.....	41
Jean-Georges Noverre’s <i>Lettres sur la danse, et sur les ballets</i> : A Study of the Revised and Enlarged Editions	MORI Tatsuko.....	55
A re-creation of the dances taught by Tokuyo Nikaidou	MURAYAMA Shigeyo.....	69

紀 要 委 員 会

瀬川 大 (委員長)	三好 昭子 (副委員長・編集長)
井筒 紫乃	加賀 岳彦
並木 真理子	牧 琢弥
松澤 慶信	

(委員会役職者除く五十音順)

日本女子体育大学 紀 要 第 54 卷

[非売品]

令和 6 年 3 月 31 日 発 行

編 集 兼 東京都世田谷区北烏山 8-19-1
発 行 者 日 本 女 子 体 育 大 学
学 長 深 代 千 之
製 作 東京都港区三田 5-14-3
昭和情報プロセス株式会社
